

アルブミン製剤の使用量について

【現 状】

- 1980年代前半、わが国のアルブミン製剤使用量は世界生産量の1/3にも達し、国際的な批判を浴びていたところ。その後、血液製剤適正使用ガイドラインの作成等、医療機関における適正使用を推進したことにより、わが国のアルブミン製剤の使用量は漸減するとともに、同製剤の国内自給率は大幅に上昇した(図-1 及び 図-4)。
- しかしながら、都道府県別の使用量(図-2及び図-3:平成20年度調査データ)を見ると、1000床あたりの使用量をもっとも多い県ともっとも少ない県の格差は約5.4倍と依然大きく、さらなる適正使用が可能であると思料される。
- さらに、平成19年までは適正使用推進の効果もあり年々上昇していたアルブミン製剤の国内自給率が、平成20年においては20数年ぶりに低下傾向となったところ(図-4)。

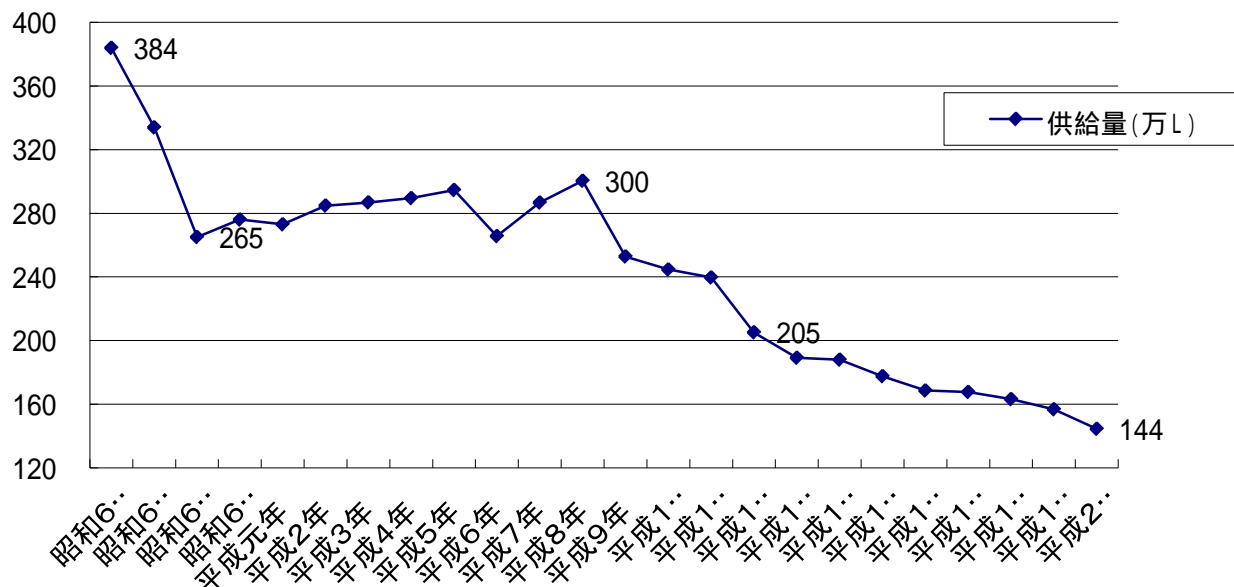
【論 点】

アルブミン製剤の適正使用を推進しつつ、国内自給率を高めるための具体的な方策は考えられないか。

- ◎ 例えば、インフォームド・コンセントの徹底などの使用適正化方策により国内自給率の向上が図れないか。

図 - 1 アルブミン製剤の国内使用推移

(財)血液製剤調査機構のデータをもとに厚生労働省作成



年次	昭和58年	昭和59年	昭和60年	昭和61年	昭和62年	昭和63年	平成元年	平成2年	平成3年	平成4年	平成5年	平成6年	平成7年
供給量(kg)	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明
供給量(万L)	322.0	345.0	384.0	334.0	265.0	276.0	273.0	284.8	286.8	289.5	294.6	265.6	286.7

年次	平成8年	平成9年	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年
供給量(kg)	76,434	64,142	62,057	60,789	52,041	47,985	47,683	45,033	42,757	42,520	41,390	39,760	36,657
供給量(万L)	300.39	252.78	244.57	239.57	205.09	189.11	187.92	177.48	168.51	167.57	163.12	156.69	144.47

図 - 2 都道府県別アルブミン製剤使用量(1床当たり)

2008年 アルブミン製剤使用量の多い順

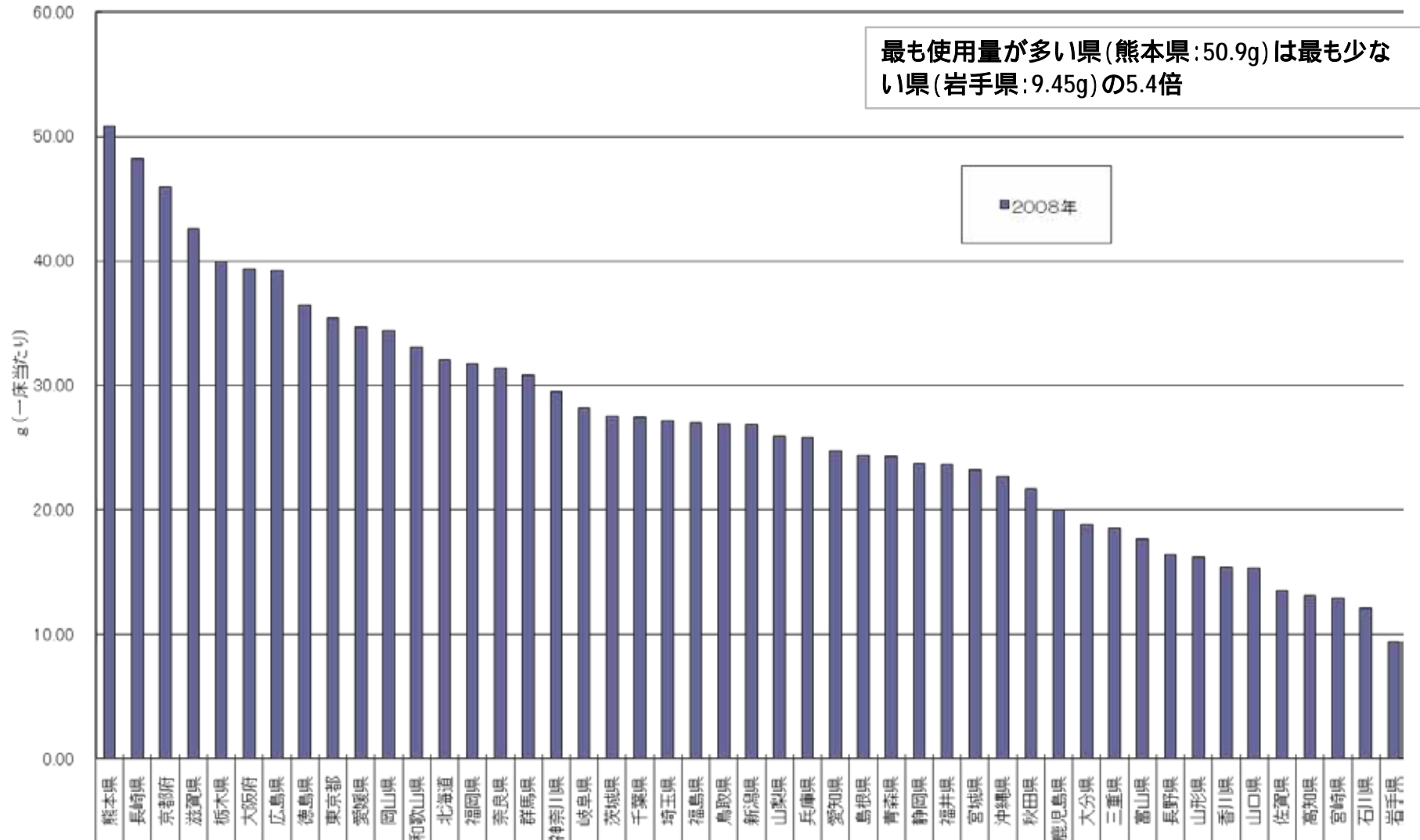


図 - 3 都道府県別アルブミン製剤使用量(1床当たり増減)

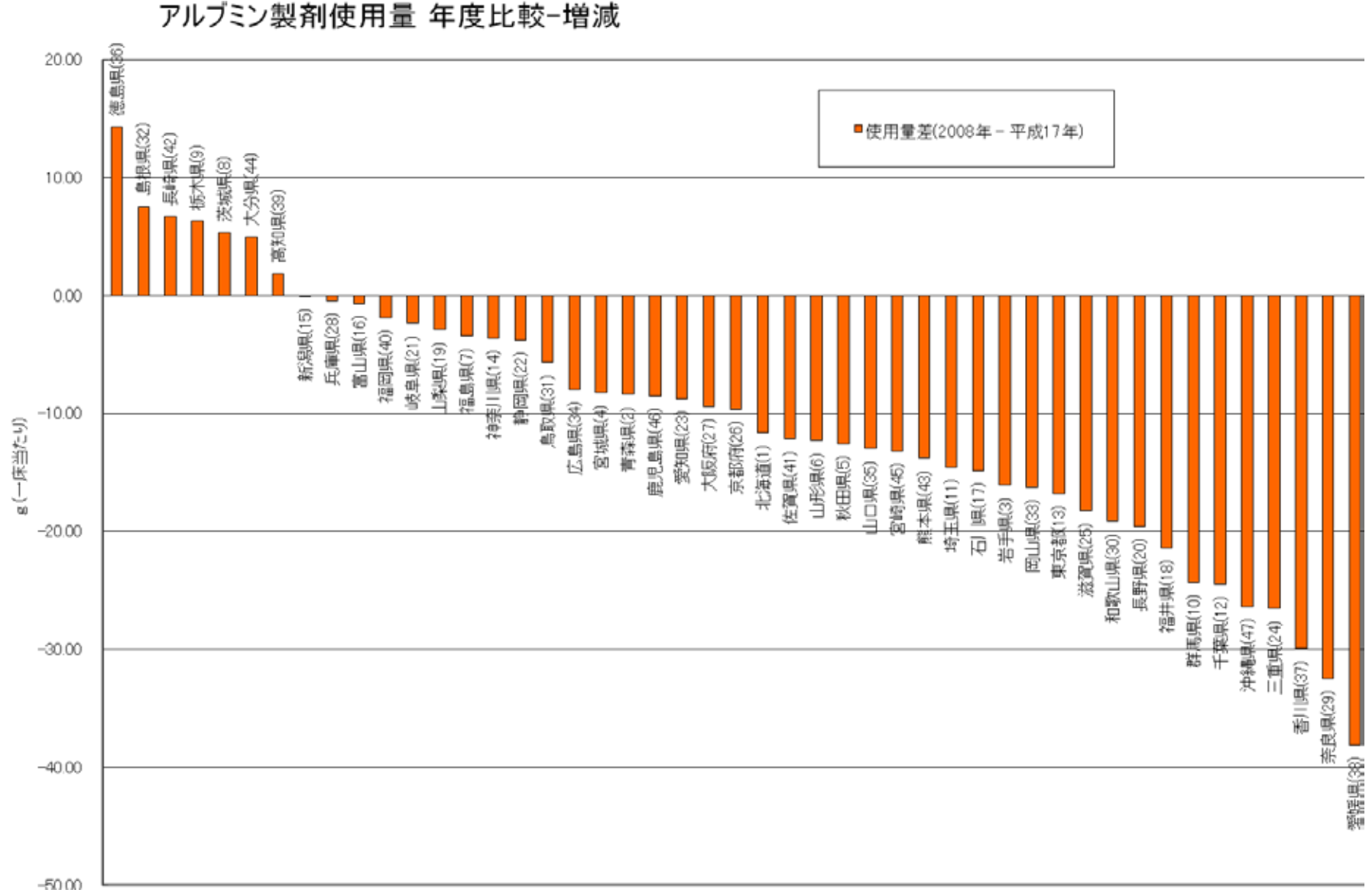
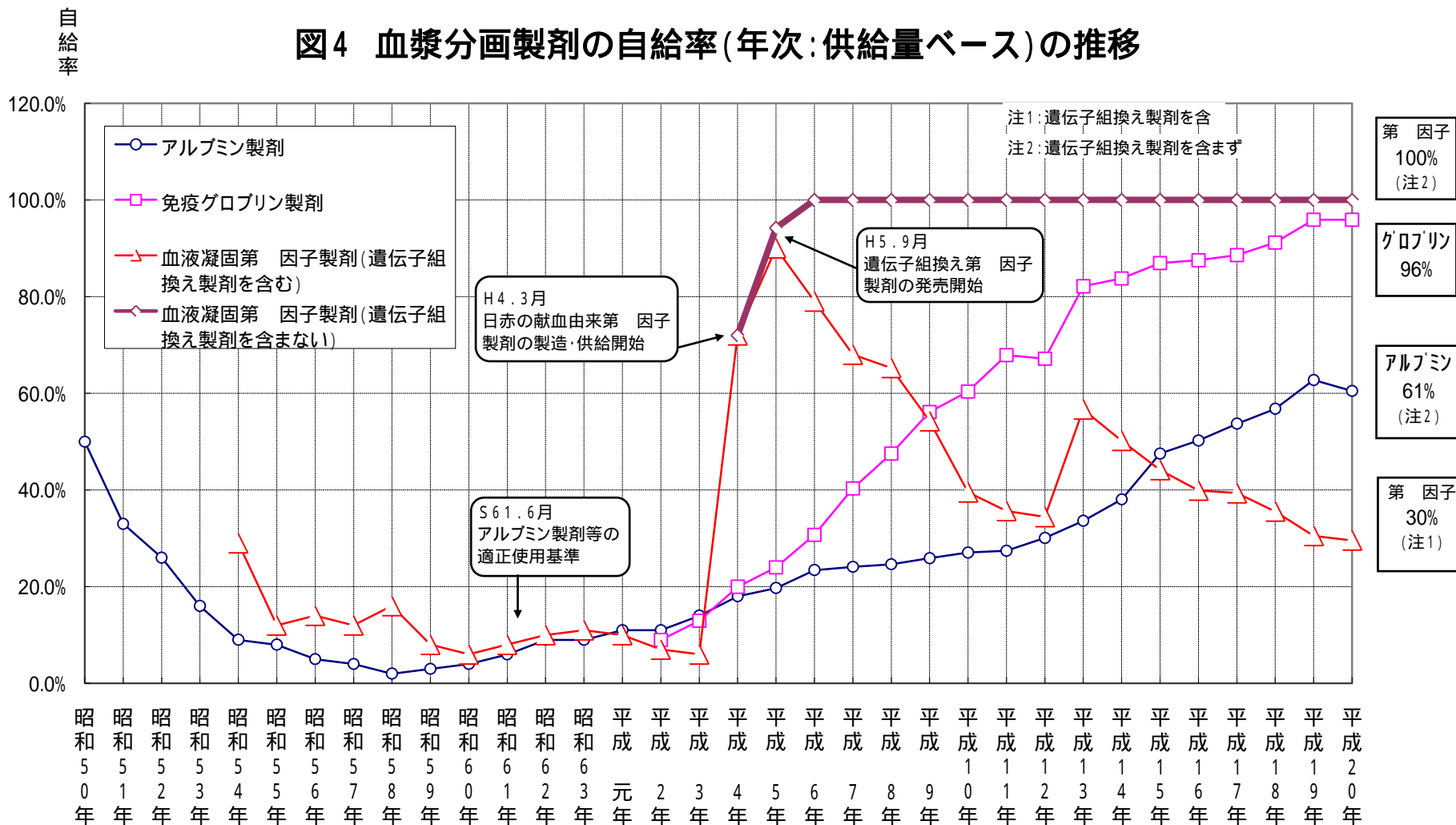


図4 血漿分画製剤の自給率(年次:供給量ベース)の推移



平成9年以前は年次、平成10年以降は年度